

第 68 回経営委員会議事概要

1. 日 時：2022 年 5 月 27 日（金）13:30～15:00
2. 場 所：年金積立金管理運用独立行政法人 会議室
3. 出席委員等：・山口委員長 ・新井委員長代理 ・内田委員 ・逢見委員 ・尾崎委員
・加藤委員 ・小宮山委員 ・根本委員 ・堀江委員
・宮園理事長
4. 議事概要

【議決事項】

「2021 年度における基本ポートフォリオの検証について」

2021 年度における基本ポートフォリオの検証について、基本ポートフォリオ検討等 PT における検証①の状況を報告し、2021 年度については検証②及び見直しの検討は必要ないことについて、議決を行い、出席した 10 名の全委員の賛成により承認された。

【報告事項】

- (1) 「2021 年度 ESG 活動報告（骨子）について」

GPIF の ESG に関する様々な取組みや効果測定について、国民や企業などマルチステークホルダー向けに広く情報開示を行うために作成している「2021 年度 ESG 活動報告」の骨子等について、執行部から報告があった。

質疑等の概要は以下のとおりである。

委員 A ESG活動の効果測定が一番重要なテーマになってくると思うので、ぜひ引き続き、新たな分析に挑戦してほしい。

執行部 承知した。

委員 B 今のウクライナ情勢で、ESGのパフォーマンスが短期的にネガティブな影響を受けるという分析もあるので、長期的なスタンスで、リスク・リターンを見ているということを明確に説明する必要があると思う。

それから、ESGのスコアリングをインデックス採用にも使っていると思うが、金融庁が出した投資信託の業界への提言の中で、そのスコアリングはまだ改善点がある等、もっと使う側も検証をする方がいいと記載があったので、そういう観点も入れていただきたい。

金融業界ではなく一般の国民が読まれるのを想定していると思うが、ESGの認知がどの程度進んでいるとか、ESG投資に賛成か反対かといった調査があっても良いと思う。

執行部 外部有識者のインタビュー等において、ESGのパフォーマンスは、長期的なスタ

ンスで、リスク・リターンを見ているということを発信していきたい。

スコアリングに関しては、色々な切り口で分析したいと考えている。また、ESGに関する個人への浸透については、広報が調査をしているので参考にしたい。

委員C ESG活動報告でいろいろ紹介する中で、Eについてのウエートが多いという印象で、SとGについても重要だと思う。特にSのところでは、昨今ビジネスと人権に関する関心が高まっており、投資をする際に人権を重視するという人権デューデリジェンスを企業に求めるという動きある。一般の人にも関心を引き起こすという意味で、そういった部分の記載もお願いしたい。

執行部 ご指摘の通り、Sについては政府からも開示の方針などが出てきている最中なので、人的資本に対してコーナーを設けて、記述したい。

委員D 評価会社と企業等発行体のエンゲージメントへ十分コミュニケーションできていないということがあると思う。それから、評価の基準が明確でなく、基準を公開してほしいという声はかなり残っていると思うので、ESG評価機関、評価会社の立場からの提言やコメントを盛り込んでみてはどうか。

執行部 インタビューの中に入れられるかどうかは別として、我々は評価会社と日常的にコミュニケーションしており、そこで企業側に期待すること、逆に企業と会話する中で評価会社の期待することというのは双方伝えているので、今後も積極的に続けていきたい。

(2) 「2021年度の運用リスク管理状況等の報告」

2021年度の運用リスク管理状況等の報告について、執行部から報告があった。

【その他事項】

- ・ 足元の運用リスク管理状況及び業務執行状況について、理事長及び理事から報告があった。
- ・ 議事録の作成及び議事概要の公表（2月17日及び3月10日開催分）について承認を得た。

以上